

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3_経済・雇用】

施策 3-2_商業の振興

基本計画		事業番号	細事業名称
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_02	商店街活性化事業補助金(新居浜商店街)
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_06	はまさい開催事業補助金
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07053_12	百縁笑店街&さんさん産直市開催事業補助金
3-02-01	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	07090_01	中心市街地活性化対策事業
3-02-02	経営基盤強化・創業への支援	07200_01	創業支援補助金
3-02-02	経営基盤強化・創業への支援	07232_01	緊急小口融資制度利子補給金
3-02-02	経営基盤強化・創業への支援	07232_03	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07053_02			
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	商店街活性化事業補助金(新居浜商店街)				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興				
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	113466人			
	手段(どうやって)	昭和通り及び登り道サンロード、銅夢キッチン周辺で夏まつり等の各種イベントを開催し、集客数の増を図っている。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	イベント時の賑わいを商店街の活性化につなげていく。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,425千円		
経費		1,425	1,425	1,425	1,250			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	710	710	710	630			
	一般財源	715	715	715	620			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
参加者数			目標値	10000	10000	5000	5000	
			実績	0	10000	5000	5000	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
昭和通り及び登り道サンロード、銅夢キッチン周辺で夏まつり等の各種イベントを開催し、集客数の増を図っている。商店主の高齢化、後継者不足等により、店舗の減少が続いており、イベント開催にあたる担い手不足が課題となっている。令和6年度の実施事業については、従来より規模を縮小し、銅夢キッチン周辺でイベントを開催した。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
夏の風物詩として市民のみならずにも周知されているイベントであり、中心商店街のにぎわいの創出に寄与しているため、継続して事業を実施する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討					
令和6年度は、銅夢キッチン周辺で第41回目の開催となり、一定数の来客があった。来年度以降はイベントの担い手不足で開催が困難な状況であると聞いており、はまさい開催事業とあわせて、事業の休廃止を含め検討する。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07053_06		
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	はまさい開催事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	「はまさい」を継続開催し、銅夢キッチンを中心に各種イベントを開催することによって、中心商店街に人の歩く動線を形成する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域の様々な団体が協力して、商店街活性化をめざしていくとともに、銅夢キッチンを中心としたイベントの開催により中心商店街に賑わいの創出が図られる。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,900千円	
経費		0	1,900	1,900	0		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0		0	0		
	一般財源	0	1,900	1,900	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
参加者数		目標値	30000	30000	30000	30000	30000
		実績	10000	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>商店街エリアのにぎわい創出のため、銅夢キッチンを中心として、イベントを開催予定。商店街の賑わい創出のため、試行錯誤を重ねながら、イベントを実施に向けて協議している。店主の高齢化、後継者不足等により、店舗の減少が続いており、イベント開催にあたる担い手不足が課題となっている。令和5年度は担い手不足等によりイベント未開催となった。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>中心商店街のにぎわいの創出に寄与しているため、継続して事業を実施する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>新居浜商店街連盟が主催し、中心商店街の活性化とにぎわいの創出を図ることを目的に銅夢キッチン周辺を会場として「はまさい」を実施していたが、令和5年度からイベントの担い手不足等により、開催が困難となった。来年度以降についても開催が困難な状況であると聞いており、にはま夏まつり開催事業とあわせて、事業の休廃止を含め検討する。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07053_12		
事業名(行目名称)		商店街活性化対策費	細事業名	百縁笑店街&さんさん産直市開催事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	114,886人			
	手段(どうやって)	百縁笑点街&さんさん産直市開催のための経費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	魅力的な商品や市民参加型のイベントを充実・拡充させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 950千円	
経費		950	950	950	947		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	950	950	950	947		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
参加者数		目標値	36000	36000	6000	12000	12000
		実績	27500	30000	6000	14000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
毎月、工夫を凝らした内容で集客を図り賑わい創出に寄与している。今後も継続的な取組により、更なる集客を期待したい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
商店街の賑わい創出には欠かせないイベントであり、事業を継続する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和6年度は年12回、毎月第4土曜日に開催した。子供向けのイベント等、毎月イベントの趣向を凝らして集客に取り組み、商店街活性化に寄与しているため、今後も継続する。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07090_01			
事業名(行目名称)		中心市街地活性化対策費	細事業名	中心市街地活性化対策事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興				
	基本計画	にぎわいと魅力あふれる商店街の形成	担当課	産業振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜商店街連盟会員		数値	43者 43者			
	手段(どうやって)	新居浜市、新居浜商工会議所、新居浜商店街連盟の3者による新居浜市まちづくり協議会を開催し、今後商店街の活性化策の検討を進めていく。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市まちづくり協議会を立ち上げ、実効性の高い活性化策の協議・検討を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		360	360	360	0	○負担金補助及び交付金 360千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	360	360	360	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
(中心商店街への出店件数) まちづくり協議会開催回数			目標値	4	4	2	4	4
			実績	3	2	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>中心市街地の活性化対策の市としての成果を図るものとして、令和4年度以降、成果指標を変更。令和3年度まで「中心商店街への出店件数」令和4年度以降「まちづくり協議会開催回数」まちづくり協議会において、今後の中心商店街活性化のための議論が必要。商店街の核となる銅夢キッチン の在り方についても、協議を重ねる必要がある。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>商店街エリアの在り方の検討、商店街の活性化策を検討していく必要があるため、事業を継続する。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)	B: 事業の進め方の改善検討					
<p>中心市街地の現状と課題及び時代背景に沿った再生事業について、関係機関との協議・検討する目的で新居浜市まちづくり協議会が設立された。新居浜商店街連盟が今後の活性化に向けた方向性を検討し、決定した方針に基づいて、新居浜商工会議所、新居浜市と3者で活性化策等についての協議を進めていく。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07200_01		
事業名(行目名称)		創業支援対策費	細事業名	創業支援補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	経営基盤強化・創業への支援	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	創業者	数値	-			
	手段(どうやって)	市内で創業した中小事業者に対し、事業の初期投資にかかった経費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	創業者の事業継続					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		6,631	6,652	6,652	4,496	○報償費 48千円 ○旅費 4千円 ○負担金補助及び交付金 6,600千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,631	6,652	6,652	4,496		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
創業支援補助金による支援件数		目標値	10	10	10	10	10
		実績	16	25	5	16	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
昨年度よりも申請件数は減少しているが、9月末時点で相談件数は18件あり、市内産業の振興及び活性化を図るため、引き続き創業支援を行っていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
市内産業の今後の活性化のため、引き続きスタートアップ支援として補助を継続するべく予算要求を行うが、件数の推移から全体では縮小予定。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市内で創業する16名に対し補助を行った。令和5年度より件数は減少したものの、市内産業の振興及び活性化を図ることに寄与できるため、引き続き事業を継続する。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07232_01		
事業名(行目名称)		新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策費	細事業名	緊急小口融資制度利子補給金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	経営基盤強化・創業への支援	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内事業所(民間)	数値	4977事業所			
	手段(どうやって)	市内金融機関との連携により中小企業等のつなぎ融資を簡素化・迅速化し、利用者のニーズに応える。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	中小企業者が負担すべき金利を市が全額負担することで、利用者負担の軽減をはかる。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,200	1,019	1,019	949	○負担金補助及び交付金 1,019千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,200	1,019	1,019	949		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
利子補給率(%)		目標値	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
中小企業者が負担すべき金利を市が全額負担することで、利用者負担の軽減が図られている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた融資利用者の負担軽減を図るため、事業を継続する。(融資期間R7.6月まで)							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
金利を市が負担することで、利用者負担の軽減を図っていたが、融資期間が満了となることに伴い、令和7年度に事業を終了する。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07232_03		
事業名(行目名称)		新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策費	細事業名	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	商業の振興			
	基本計画	経営基盤強化・創業への支援	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内事業所(民間)	数値	4977事業所			
	手段(どうやって)	「県独自枠」に係る金利1.0%を県と市町が1/2ずつ補給し実質無利子とする。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者の資金繰り支援(実質無利子)の実施し、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業者の支援する					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 500千円	
経費		6,034	500	500	110		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,034	500	500	110		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
実質無利子(市負担分)率		目標値	50	50	50	50	
		実績	50	50	50	50	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者の資金繰りを支援するため、県と市町が1/2ずつ補給し、実質無利子とすることで、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業者を支援する。(R6.2.1～R6.3.30分)							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
新居浜市新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給金交付要綱により利子補給期間を3年と定めており、R6.3月で3年経過したため、利子補給を終了する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業者に対し、市と県で利子部分を1/2ずつ補給(実質無利子)し、計画通り資金繰り支援を行っていたが、利子補給期間が満了となったため、令和6年度で事業を終了する。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者			最終評価責任者			
事後評価	作成担当者			最終評価責任者			